

■大手通りモール整備事業 (表彰対象者：富山市都市開発部都市計画課)

富山城の玄関口に、陽光かがやくモールが誕生

事業のあらまし

大手通りは、富山城の大手門から伸びてくる歴史性を持った象徴的なみちである。格子状の道路網からはずれていることから、自動車の通過動線とはなっていないみちである。そこで、大手通りは単なる機能的なみちにとどまらず、歩き、たたずみ、子供達が遊びまわれるような空間を、その両側にある建築物、例えば市民プラザ・文化ホールなど一体になってかたちづくっていくことによって、大手通りは城址公園と総曲輪通りをむすびつけ市民に快適な回遊空間を提供することが出来る。以上のことを踏まえ、大手通りを車道

幅6.5mとし、歩道を広げてモールとして整備をおこなった。平面計画としては、穏やかに湾曲した既存の道路をいかし、さらに曲率の大きな車の通行帯を6.5mと設定することによって市民プラザの前に広場としての歩道空間を設けた。歩行者の通行帯は4m程度を確保し、車道との間に生み出される空間を環境ゾーンとして植栽・照明・ファニチャー・市民プラザ前のイベントスペース・休憩場所・せせらぎなどを設け豊かな空間として整備をおこなった。

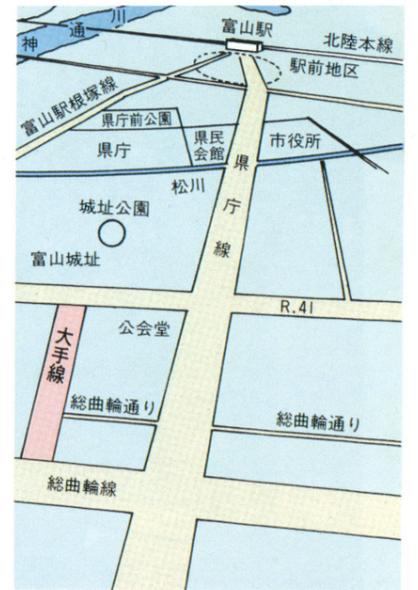
- ・延長 300m
- ・幅員 27m
- ・整備年度 昭和63年度
- ・事業費 660,000千円
- ・事業実施期間 昭和63年6月～平成元年3月

メルヘンチックな色調
が心をうきたさせる



●位置

大手モールはJR富山駅より南へ2km、旧市内の中心に位置し、富山城の大手門から伸びてくる歴史性をもった象徴的なみちである。



受賞の理由

快適な歩行者空間を創出するため、市民プラザと一体となった街路整備を行い、情報拠点、レクリエーション拠点としての機能を持たせるなど、従来のイメージを一新した都市の顔づくりを行ったことなどが評価された。



並木



ケヤキとカツラ
都市のシンボルとなる
堂々とした並木道

モニュメント



柱のてっぺんから水が
噴きだし、ゆっくりと
左右に傾く。風が吹け
ば回転し、鏡面仕上の
ステンレスが日差しを
浴びてキラキラと輝く。

広場

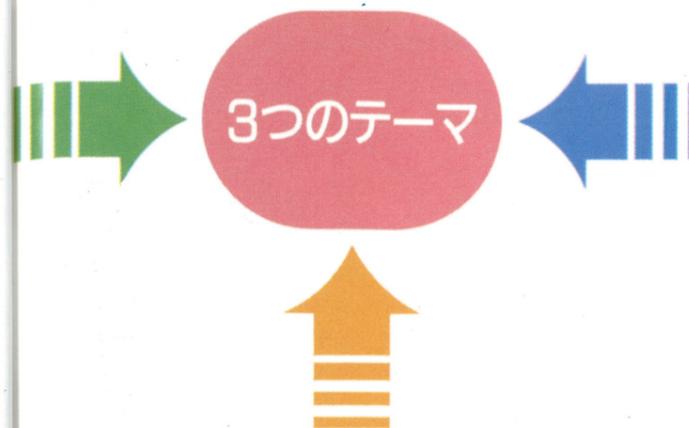
市民プラザ玄関口と一
体となり、約700㎡のイ
ベントスペース。種々
のアクティビティを誘
発する広場としてのみ
ち空間。



照明灯 車道照明、歩道照明、照明モニュメント。歩行者にやさしく語りかける素敵な脇役たち。



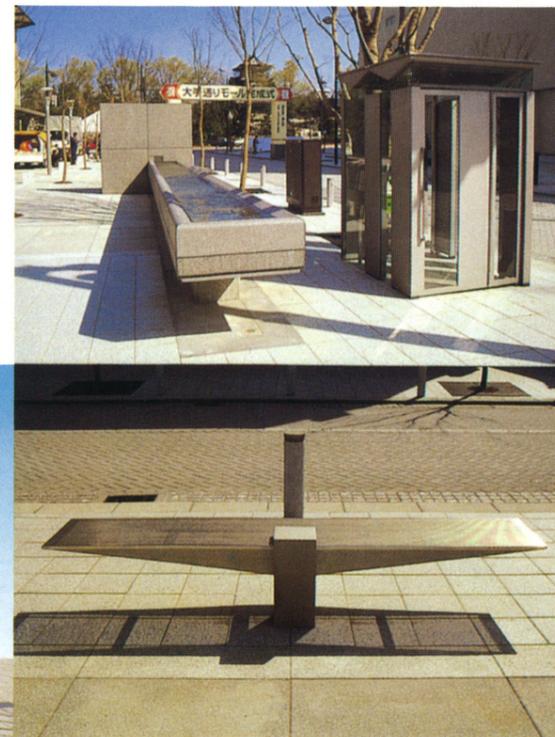
うるおい・快適
キーワードに!



背後の山々からもたら
される豊かな水をイメ
ージし、5つのゾーン
で変化に富んだ水の演
出。

水

ステンレスを使ったベ
ンチ、電話ボックス、
水のみ。



ストリートファニチャー

